

とこひの かふち



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる

一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」

《学校だより》 第1号

令和5年4月21日発行
湯河原町立湯河原小学校
校長 加藤 佳代

令和5年度 スタート！

令和5年度が始まりました。

4月6日はどんよりとした天気でしたが、子どもたちの頭上には青空が広がっているかのように明るく、元気に登校してきました。久しぶりに会う友達とランドセルを置いてすぐにピロティのところで遊び始めている子もいました。



今年度の着任式、始業式は3年ぶりに2～6年生が体育館に集まって行いました。今年度は8名が新しく着任いたしました。

始業式では、「心はほかほか」を目指すためにまずはあいさつをしよう、「学びはしっかり」を目指すために、友達と楽しく、進んで、粘り強く学び、毎日ほんの少しずついいので昨日よりできることを増やしていこう、そして「体ははつらつ」を目指すために、運動したり外遊びをしたりして体を鍛えていこう ということをお伝えしました。「〇〇してください」と言うと、「はい！」という気持ちのよい返事が返ってきます。新しい学年になり、やる気に、満ち溢れている印象を受けました。また、放送で行うのとは違い、子どもたちの反応がすぐにわかるのはとてもうれしく感じました。

入学式では、43名の新1年生を迎えました。6年生が1年生と手をつないでの入場を久しぶりに復活させました。少し照れたような顔の6年生と、少し緊張して6年生の手を握る1年生の姿がとても微笑ましかったです。令和5年度の湯河原小学校、281名でスタートしました。

はじめまして



小田原の北側にある報徳小学校より転任してまいりました、校長の加藤 佳代と申します。

湯河原町の学校に勤務するのは初めてです。これから湯河原小のことだけでなく、町全体のことも知っていきたくて意欲を燃やしています。

赴任してきて今年度、まさに歴史的な節目となる開校150周年記念式典があることを知り、とても驚きました。この歴史的行事に携わることになって光栄であるとともに重い責任を感じ、身の引き締まる思いです。この記念事業の集大成となる式典が、子どもたちにとっても、保護者の皆様にとっても、地域の皆様にとっても、深く心に残るものになるよう、力を尽くしていきます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

4月から学校でも

マスクの着用を個人



の判断に委ねています。

職員も子どもたちもマスクをしていたりしていなかったりとそれぞれです。

この3年間でマスクの着用が習慣になっていたため、子ども同士でマスクをしていない子に注意をしていることがあります。

「今は自分で決めていいんだよ」とそれがいじめ等につながらないように、担任等から声をかけるようにしています。

裏面に、今年度の学校経営の方針（グラウンドデザイン）をのせてあります。

ご理解とご協力をお願いいたします。